

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
HILUX

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

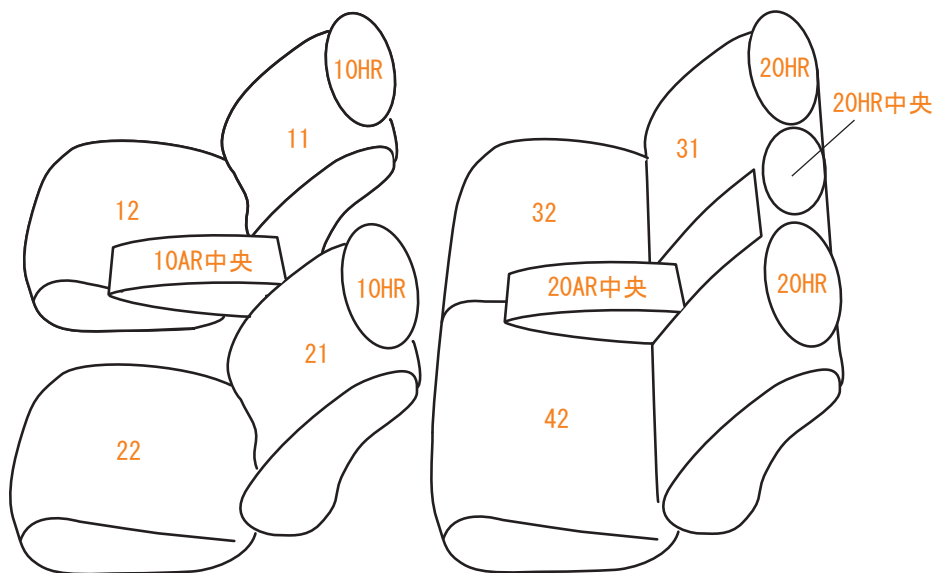
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…➤ 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…➤ 3P～4P
1 列目座面の装着方法	…➤ 5P～8P
1 列目背もたれの装着方法	…➤ 9P～10P
2 列目座面の装着方法	…➤ 11P～13P
2 列目背もたれ・アームレストの装着方法	…➤ 14P～22P
ヘッドレストの装着方法	…➤ 23P～24P
1 列目アームレストの装着方法	…➤ 25P～26P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…➤ 27P～28P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチセット (12mm) ※エクステンションバーは必要に応じてご用意ください
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの障病があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

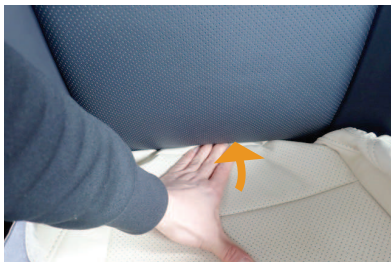
Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

主に運転席のパワーシートで説明を行っています。
助手席のマニュアルシートは8ページ22・23番も参考に、シートカバーの装着を行って下さい。



- 1 運転席はシートを一番高い状態にして、シートカバーの装着を行います。
図のスイッチでシートを一番高い位置に調整して下さい。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれを一番前に起こした状態にすると隙間が広くなり生地が入れ込みやすくなります。



- 2 シートの背面からシート裏に固定されている生地を外します。
生地はシート裏でフックにゴムを引っ掛けて固定されています。ゴムの固定をほどき図のように生地を外します。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。
シートの背面にはあらゆる配線が通っているので、生地に分かれ目で配線をかわして生地を引き出して下さい。



- 3 カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



- 6 シートベルトバックルにカバーの加工穴を通します。



- 7 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



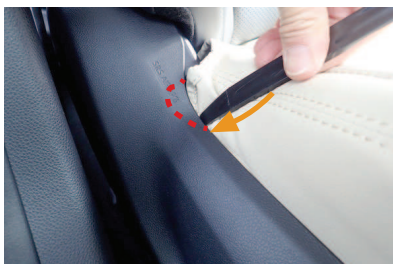
- 10 シート外側の付け根部分は図のようになります。



- 8 シートの外側です。
カバー外側面の固定部材を、生地と一緒にシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。



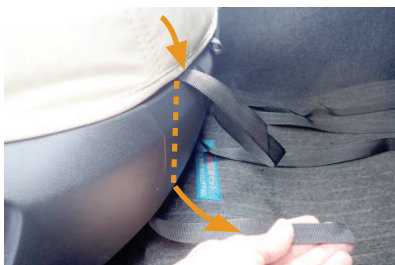
- 11 シートの内側です。
カバーの端にはマジックテープが付いています。
※マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外して下さい。



- 9 シート外側の付け根側です。
こちらは隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用して生地を矢印方向へ入れ込みます。



- 12 マジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



- 13 カバーの前側に付いているベルト4本を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込み、シートの裏側から引き出します。引き出したベルトをシートの裏側を通して背面側へ入れ込みます。



- 14 シートの前側からシートの裏側を写した図です。ベルトは図の白いプラスチックパーツの上を通すようにして下さい。



- 15 ベルトをシートの背面側から引き出します。



- 16 ベルトを5番で引き出した生地が付いているバックルに通して固定します。



- 17 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意して下さい。



- 18 ベルトを固定したシートの背面側は図のようになります。



- 19 カバーのラインを整えて、1 列目運転席座面の完成です。



- 20 運転席座面の補足です。
一番上に調整していたシートの高さを下げると固定部材の掛かりが緩まり、カバーの張りも緩みます。



- 21 その場合はヘラなどを使用して固定部材を再度奥へ入れ込み、調整して下さい。

助手席



- 22 助手席座面はカバーを図のようにシートの前側へカバーを引っ掛けるようにして、シート全体にカバーをかぶせます。
その後は運転席と同様にカバーの装着を行って下さい。



- 23 シートの前側です。
カバーの前側に付いているベルトは、スライドレバーの上を通して固定して下さい。



- 24 カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。

Step 2

…> 1 列目背もたれの装着方法



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態にして、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 4 カバー中央の生地を背もたれと座面の隙間に入れ込みます。
背もたれを一番前に起こした状態にすると隙間が広くなり生地が入れ込みやすくなります。



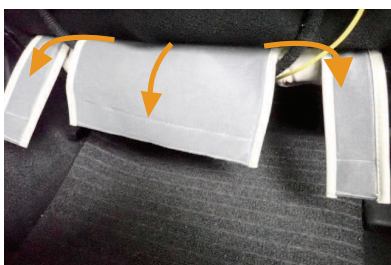
- 2 5ページ2番で外した生地をめくり上げてカバーの内側に入れ込みます。



- 5 カバーの両端の生地はそのまま座面と背もたれの隙間に入れ込もうとすると、隙間が狭くなっているので大変です。
カバーの両端の生地を中央に寄せて、中央部分から背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



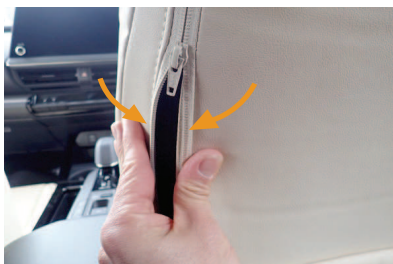
- 3 ヘッドレストの台座を取り出します。
ヘッドレストの片側のフチに生地を入れ込み、生地の伸びを利用して台座を取り出します。



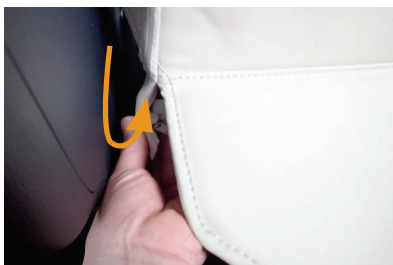
- 6 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。
シートの背面にはあらゆる配線が通っているので、生地の分かれ目で配線をかわして生地を引き出して下さい。



- 7 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



- 8 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉める際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 9 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。

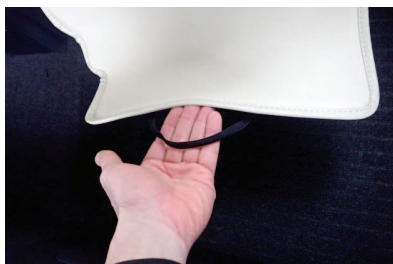


- 10 6番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 11 カバー背面下の生地に、図のようにゴムが付いています。
ゴムを5ページ2番で外した生地を固定していたシート裏のフックに引っ掛けて固定します。この際うまく固定できない場合は付属の金属フックを使用してシートの裏に引っ掛けて下さい。



- 12 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認してください。
カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

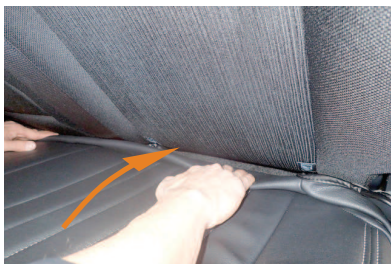
Step3

…> 2列目座面の装着方法

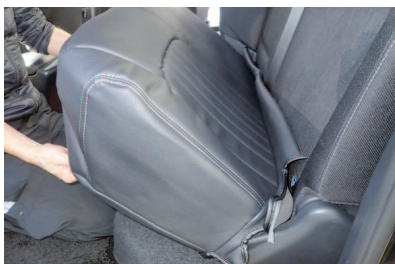
4：6分割の助手席側で説明しています。運転席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で装着を行って下さい。



- 1 カバー内側のファスナーを開いた状態で、シートを少し跳ね上げて、シートのラインに合わせてかぶせます。



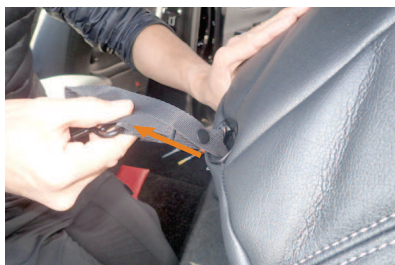
- 4 シートを斜めに跳ね上げた状態で、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 カバーをシート全体にかぶせます。



- 5 シートの付け根の生地も、シートに沿わせるように入れ込みます。



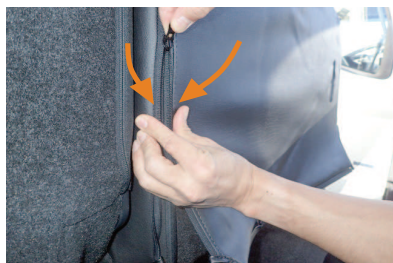
- 3 シートを跳ね上げる際に使用するストラップを、図の加工穴から取り出します。



- 6 入れ込んだ生地をシートを跳ね上げて、シートの裏から引き出します。



- 7 シートの付け根の生地もシートの裏から引き出します。



- 10 内側のファスナーを生地を寄せながら慎重に閉じます。



- 8 シートを跳ね上げた状態で固定します。シート裏側のシートを固定するフックとカバーの加工穴の位置が合っていることを確認します。



- 11 カバー内側の生地と6番で引き出した生地の端を、マジックテープで固定します。



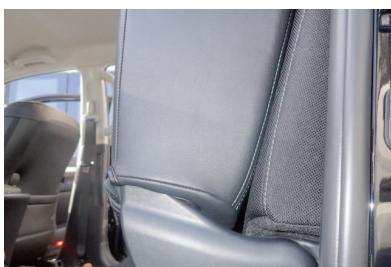
- 9 7番で引き出した生地をシート裏まで引き出し、生地の端に付いているマジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外してからマジックテープを固定して下さい。



- 12 カバーの後ろ側全体を固定します。固定方法はブラックで固定します。6番で引き出した生地が付いている板状のフックを、縫い付けている生地ごと折り返してU字のフック側に差し込みます。23ページ4番にブラックを固定している断面図があるので、そちらも参考して下さい。フックは端から順々に固定していきます。



- 13** 板状のフックをしっかりと入れ込みます。ブラフックの固定は一度固定すれば簡単には外れません。簡単に外れてしまう場合は固定が甘いか固定方法を間違っている可能性があります。



- 16** 生地をしっかりと入れ込むと図のようになります。
※シートの上げ下げを繰り返すと生地が出てくる場合があります。その場合は生地を入れ直して下さい。



- 14** ブラフックを全て固定するとシートの裏側・後ろ側は図のようになります。



- 17** シート裏のカバーの生地は、シートの固定を妨げないように最小限の厚みにしています。それでもシートのロックが掛からない場合は、上から押し付けるなど、サポートして下さい。



- 15** シート外側面の付け根側です。カバーの端を折り返して、純正シート地の内側に入れ込みます。



- 18** カバーのラインを整えて、2列目助手席側座面の完成です。
運転席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 4 …> 2列目背もたれ・アームレストの装着方法



- 1 座面を跳ね上げた状態で固定します。シートベルトのバックルを、固定しているゴムから抜き出します。



- 2 中央のシートベルトを外します。赤いロックを解除するボタンをヘラの先端などで押すとロックが解除できます。



- 3 ロックを解除した中央のシートベルトを、固定しているゴムから抜き出します。



- 4 シートを車体から外します。シートはボルトとシート裏側のフックで固定されています。図は運転席側のボルト位置です。助手席側にも同様にボルトがあるので、全て外します。



- 5 ボルトをソケットレンチなどを使用して全て外します。ソケットは12mmを使用します。ボルトを全て外しても、シートは6番のフックで固定されているので、ずれてくることはありません。



- 6 シート裏のフックを確認しておきます。シート裏側にフックが、車体側に差込口があります。



- 7 シート裏のフックを外す前に、ボルトを外したシートの軸部分に、なるべく厚手のウエスなどを置いておきます。この上に外したシートを置けるように準備します。



- 10 シートの固定が外れたら7番で準備していたウエスなどの上に置きます。



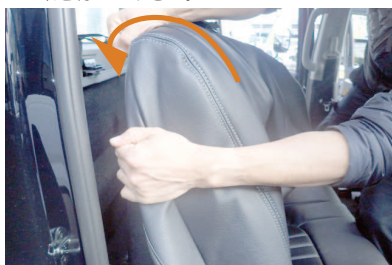
- 8 シート裏のフックを外します。座面を跳ね上げた状態で固定して作業を行います。まずシートを車体と平行に真上に持ち上げます。体勢を整えて、腰などを傷めないように作業を行って下さい。



- 11 シートが車体側の固定から外れました。説明書では車内でカバーの装着を行っていますが、シートを車外へ運び出すことも出来ます。その場合は十分に注意して、車体に傷などを付けたりしないよう、慎重に作業を行って下さい。



- 9 真上に持ち上げた状態を膝などで支えたまま、シートの先端を手前側に引きます。これでシート裏のフックが外れます。



- 12 カバーの装着を行います。まずシートの肩口にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。運転席側・助手席側共にかぶせます。



- 13 中央のアームレストをカバーの加工穴から出します。



- 16 上側のフックを全て固定すると図のようになります。



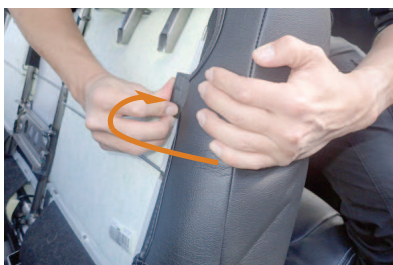
- 14 カバーをシート全体にかぶせて、ヘッドレストの台座を全て取り出します。



- 17 カバー側面の生地をシートのラインに合わせて馴染ませます。



- 15 シートの裏側でカバーのフックを引っ掛けて固定します。
純正シート地を固定しているフックの上からカバーのフックを引っ掛けていきます。



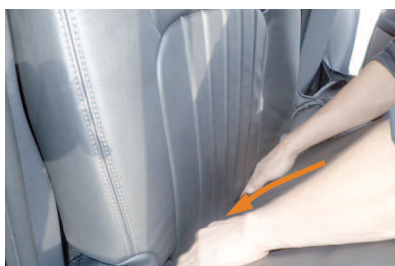
- 18 側面の裏側も純正シート地を固定しているフックの上からカバーのフックを引っ掛けて固定します。



- 19 側面の裏側は図のように固定されます。



- 22 引き出した生地をシートの下側にある鉄のフレームとシートの間に通します。



- 20 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



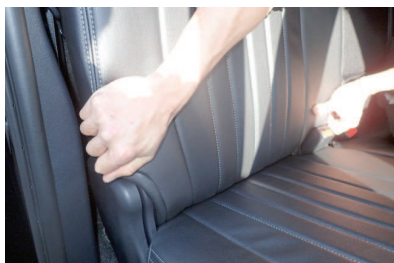
- 23 フレームにはチャイルドシート固定用のフックがあり、フックに生地が引っ掛かりやすくなっています。シートを押しながらフックをかわして生地を引き出します。



- 21 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 24 カバーの固定を行う前にカバーのラインを確認します。図の矢印位置の縫い目が、座面と背もたれですれていない場合はカバーを固定をする前にカバーのラインを調整する必要があります。



- 25 生地をしっかりと掴み、縫い目のラインが合うように調整します。



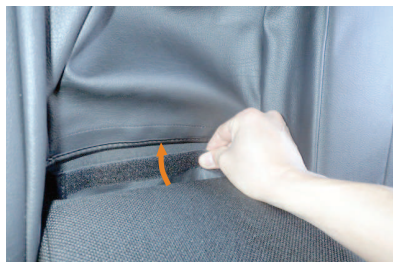
- 26 縫い目のラインを合わすと図のようになります。
※背もたれカバーを調整しても縫い目が合わない場合は、座面カバーがずれている可能性があります。その場合は背もたれ・座面カバー共に調整して下さい。



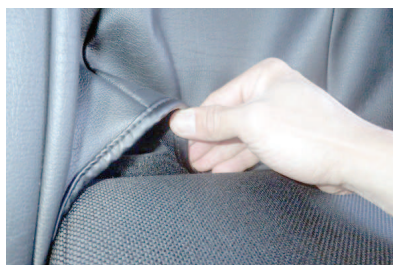
- 27 21番で引き出した生地についているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 28 アームレストの下から生地を入れ込みます。隙間が狭いので図の状態のように手を添えた状態で、アームレストを倒す一起こすを繰り返していくと、生地が中へ入り込んでいきます。



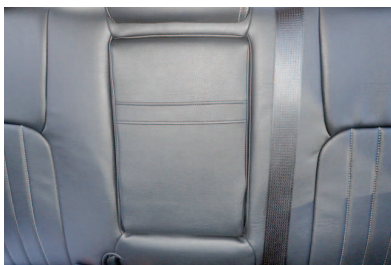
- 29 アームレストを倒して生地を引き出します。



- 30 引き出した生地と、アームレスト収納部の端についているマジックテープを固定します。



- 31 アームレスト付け根部分に生地をしっかりと入れ込みます。



- 34 アームレストを図のようにしっかりと収納しておく、アームレスト収納部の生地に型が付き、ある程度シートに馴染むようになります。アームレストは最低でも一週間程度は収めた状態にしてください。



- 32 アームレスト収納部は生地の固定が出来ないため、装着してすぐは生地が図のように浮いた状態になります。



- 35 きれいに仕上げるためには、両面テープを使用してカバーの浮きを押さえる方法があります。

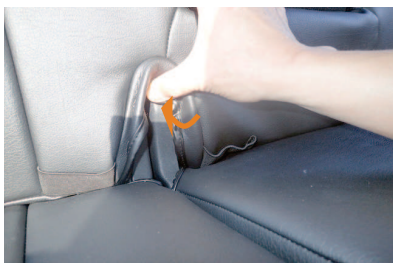


ヘラなどで生地を伸ばしながらアームレストを収納する

- 33 32番の状態を改善するためには、生地をしっかりと伸ばしながらアームレストを収納します。
※この作業はアームレストカバーを装着後行ってください。



- 36 両面テープを図の点線部分の生地裏に貼り付けて、直接シート地に押さえ付け固定します。こうすると装着してすぐに生地がシートに馴染んだような形になります。
※シート地にテープの糊が残る場合があります。両面テープの使用は自己責任でお願いします。



- 37 アームレスト下側のシートの軸部分に生地を入れ込みます。生地の手端にはマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 38 シートを車体に戻します。図のベルトがシートの内側に入り込まないように気を付けて下さい。



- 39 14ページ6番のフックの位置を意識してシートを車体に固定します。



- 40 カバーを装着したことにより、シートと車体の隙間が狭くなり、シート裏側のフックを掛けてもシートが下がり切らず、ボルトの位置が合わない場合があります。その場合は握り拳を作り、シートをポンポンと叩くとシートが下がっていきます。



- 41 ボルトの穴位置を合わせて、ソケットレンチなどでボルトを固定します。



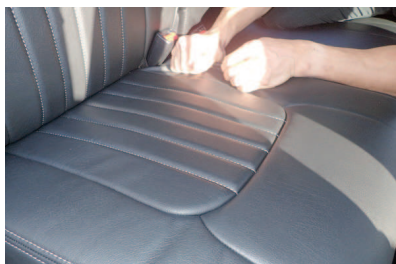
- 42 14ページ1番でシートのゴムから外したシートベルトバックルを、カバーに付いているゴムに通します。



- 43** 中央のシートベルトをカバーに付いているゴムを通して固定します。



- 46** アームレストにカバーをかぶせます。カバーの入り口部分を裏返してアームレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 44** ここでもう一度シートのラインを確認します。座面カバーを調整する場合はシートをしっかりと掴み引っ張ることで少々のはずれは解消できます。解消できない場合は一度固定を外してから、調整を行ってください。



- 47** アームレストのラインに合わせて、カバーをアームレスト全体にかぶせます。



- 45** カバーのラインを合わすと図のようになります。



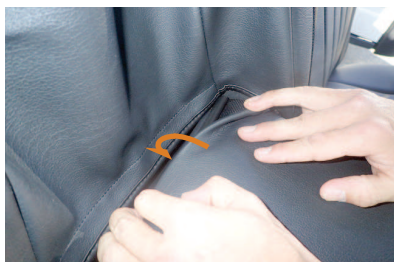
- 48** アームレストの付け根部分から先端にブラフックの付いた生地を入れ込みます。生地の入れ込み方は18ページ**28番**を参考にしてください。



49 アームレストを倒して生地を引き出します。



52 ドリンクホルダーのフチに生地を入れ込みます。アームレスト本体側に生地が余ることのないように、しっかりと入れ込んで下さい。



50 アームレストの付け根部分でブラックを固定します。23ページ4番にブラックを固定している断面図があるので、そちらも参考にして下さい。



53 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



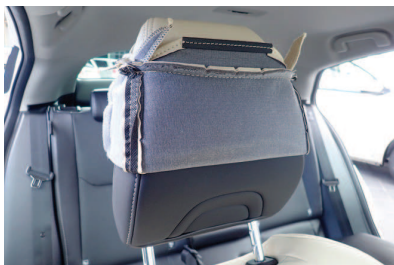
51 ブラックを固定すると図のようになります。



54 2列目背もたれ・アームレストの完成図です。

Step5

…> ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーを半分程折り返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせて先端までしっかりとかぶせます。
カバーは板状のプラスチックパーツが付いている方が前側です。



- 4 ブラフックは板状のプラスチックを生地と一緒に折り返して、フック側に巻き込むように入れ込み固定します。



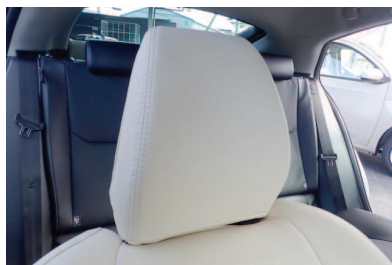
- 2 ヘッドレストのラインに合わせてカバーを左右均等に引き下げ、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 5 ヘッドレスト裏は図のようになります。

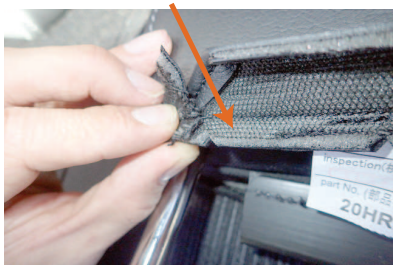


- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏で前後のブラフックを固定します。



- 6 ヘッドレストをシートに戻します。
カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

縫い代=縫い目の裏側にある、生地端部分



- 7 2列目両サイドのヘッドレストも1列目同様に取り付けます。2列目両サイドのヘッドレストは形状上、軸周りの穴を大きめに開けています。図はカバー下周りの生地の縫い代です。縫い代部分を生地表面側に倒すように装着します。



- 8 縫い代をヘッドレストの裏側に倒すと、縫い代が軸周りの穴からはみ出て見えます。この状態でも固定はできますが、あまり見た目が良くありません。



- 9 縫い代を表面側に倒してブラックを固定した場合、ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 10 2列目中央のヘッドレストは側面から引っ掛けるようにかぶせます。ヘッドレスト全体にかぶせていく際、片側の側面の角を指で押しながら慎重にかぶせます。



- 11 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。2列目中央のヘッドレスト裏は図のようになります。



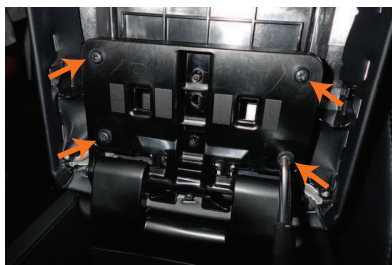
- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です

Step 6

…➤ 1 列目アームレストの装着方法



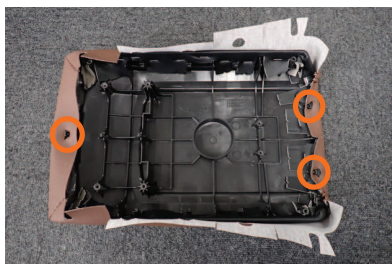
- 1 アームレストを車体から外します。矢印の位置のネジ6本をプラスドライバーで外します。この後、中のネジも外しますが合計3種類のネジが使用されているので、戻すときに間違わないようご注意ください。



- 4 アームレスト上面を固定しているネジ4本を外します。



- 2 アームレストの裏蓋の隙間に付属のヘラを差し込んで裏蓋を外していきます。このとき、1か所だけでなく少しずつヘラを移動しながら全体を浮かすようにしてください。



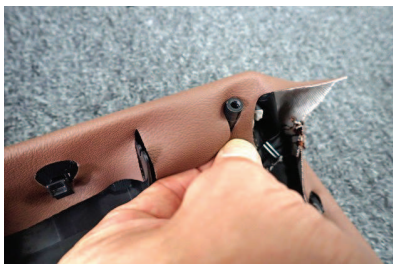
- 5 アームレストにカバーをかぶせます。○印部分にある突起にカバーの加工穴を引っ掛けます。



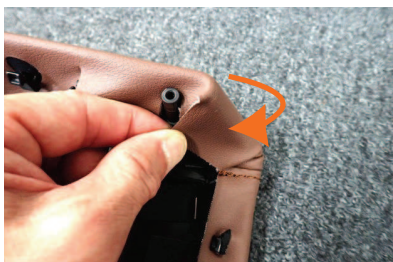
- 3 裏蓋が全体に浮き上がったら手前に引いて外します。



- 6 左右の○印部分にある突起にカバーの加工穴を引っ掛けます。全ての加工穴に引っ掛けた後、裏返してカバーが大きくずれていないか確認してください。



- 7 アームレスト前側の角の生地を内側に折り込みます。図のようにネジの固定部分に生地が重ならないようにしてください。



- 8 残りの生地も内側に折り込みます。このとき、市販の両面テープ等を使用して仮止めすると綺麗に仕上がります。



- 9 裏蓋の仮合わせを行います。図のようにカバー生地が綺麗に収まるか確認します。この時点ではまだ裏蓋をはめ込まないでください。



- 10 アームレスト上面をネジで固定します。



- 11 カバーがずれないように注意しながら裏蓋をはめ込み、ネジで固定します。



- 12 カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。



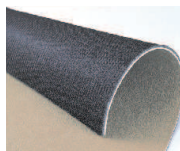
After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラセード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。



⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができて変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。

PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816